

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		消防施設管理費 [消防水利施設の維持管理]										
予算科目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費	事業番号	1	
事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	防災安全 課 消防 係					課長名	東 栄一					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 6		
【施策名】 防災・防犯体制の推進									総合計画書(ページ)	93		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	消火栓・防火水槽					消火栓・防火水槽の設置箇所数						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	消防法に基づく消防水利の基準を満たし、適切な状態で維持する。					消火栓・防火水槽の新設箇所数						
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	消火栓・防火水槽の新設等					消火栓 廃止は実勢せず。 防火水槽 1箇所新設。 防火水槽 解体は実施せず。						
	→											
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標				
対象指標	①の数値	箇所	1,008	1,005	1,004							
成果指標	②の数値	箇所	4	-3	-1							
目 標	②の目標値		0	0	0							
		目標値設定の考え方										
活動指標	③の数値	箇所	4	-3	-1							
3 経費	事業費(実績)		円	39,540,056	29,850,735	27,274,911		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	39,540,056	29,850,735	27,274,911						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0	0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	40,364,456	30,681,735	28,112,911							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成19年度									
	(2) 環境の変化		法第20条第2項に基づき、従前は、市水道事務所が「消防に必要な水利施設」(消火栓)の維持管理を行ってきた。平成19年度に市水道事務所の受託業務が東京都へ移管されたことに伴い、東京都水道局と協定を締結し、これ以降、修繕工事等の施工は東京都水道局が行うものの、市の責任において公設防火水槽及び消火栓の維持・管理を行っている。									

事業名称	消防施設管理費 [消防水利施設の維持管理]			
担当部署・課長名	防災安全	課	消防	係 課長名 東 栄一

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市民から、消火栓看板が劣化しているとの情報提供があった。 東京都水道局が市内の消火栓室内の点検を行い、多くの箇所でボルト等の劣化について、情報提供があった。 市が管理している防火水槽において、市民から除草の要望があった。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：防火水槽及び消火栓の劣化状況について、市民が情報提供をしてくれた。		
<input type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 令和2年度は、市民から消火栓看板の劣化状況等について情報提供があったが、今後も、情報提供について自治会の協力が得られれば、より効率的に看板の維持管理が行えるようになる。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	予算の確保。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 消防水利施設の劣化状況の把握や適正管理を行うためには、多大な時間を要するところ、令和2年度は、東京都水道局が市内の消火栓室内の点検を行い、多くの場所でボルト等の劣化が確認されたため、これらの対応を重点的に行った。また、このことに伴い、今後の修繕料の増額が見込まれるため、消火栓の維持・管理を行っている東京都水道局に対する負担金について、令和3年度当初予算の増額を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
予算の確保				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 防災・防犯体制の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 予算の確保。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 効率的な消防水利施設等の維持・管理を行うにあたり、引き続き、業者による標識の撤去・新設を行う必要がある。				